



2019年3月期 第3四半期 決算説明会

株式会社SUBARU

取締役専務執行役員CFO 岡田 稔明
2019年2月7日

2019年3月期 第3四半期決算 サマリー

2019年3月期 第3四半期 実績

- 連結売上高は、自動車売上台数の減少や為替変動の影響などにより、前年同期に対し減収。
- 連結販売台数は、新型車アセントが寄与したものの、今年度前半はフルモデルチェンジ前であったフォレスターの出荷台数減や主に米国の現地在庫調整を行った影響などで、前年同期に対し減少。
- 連結販売台数の減少やリコール等による品質関連費用の増加などにより、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前年同期に対し減益。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 当期純利益	連結販売台数
実績 (対前年実績)	2兆3,774億円 (-603億円)	1,537億円 (-1,526億円)	1,570億円 (-1,461億円)	1,182億円 (-346億円)	762.1千台 (-39.8千台)

2019年3月期 計画

- 前回計画(2018年11月5日発表値)に対し、2019年1月に発生した当社群馬製作所の操業停止に伴う影響や、原材料市況の影響などを織り込み修正。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 当期純利益	連結販売台数
計画 (対前年実績)	3兆1,200億円 (-1,127億円)	1,850億円 (-1,944億円)	1,930億円 (-1,869億円)	1,400億円 (-804億円)	996.4千台 (-70.5千台)
(対前回計画 2018/11/5発表値)	(-900億円)	(-350億円)	(-360億円)	(-270億円)	(-44.7千台)

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出。

| 2019年3月期 第3四半期累計 実績

第3四半期累計実績 連結完成車販売台数

(千台)

	2018年3月期 3Q累計実績 (a)	2019年3月期 3Q累計実績 (b)	増減 (b)-(a)
登録車	97.7	79.9	-17.8
軽自動車	21.1	18.6	-2.5
国内合計	118.8	98.5	-20.3
米国	509.1	495.9	-13.2
カナダ	44.5	47.3	+2.8
ロシア	5.7	6.5	+0.9
欧州	28.5	25.9	-2.6
豪州	42.0	35.7	-6.3
中国	21.5	16.6	-4.9
その他	31.8	35.7	+3.9
海外合計	683.1	663.6	-19.4
合計	801.9	762.1	-39.8

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

4

2019年3月期 第3四半期実績について、ご報告致します。

連結販売台数は、76万2千1百台となり、前年同期比で3万9千8百台の減少となりました。

国内については、

7月に全面改良を行った「フォレスター」の販売が好調に推移したものの、「インプレッサ」、「SUBARU XV」および「レヴォーグ」の販売が減少したことなどにより、前年同期比で2万3百台の減少となる、9万8千5百台となりました。

海外については、

北米市場で販売を開始した新型車「アセント」が寄与したものの、年度前半は全面改良前であった「フォレスター」の台数が減少し、また、主に米国で現地在庫の調整を行ったことなどによる出荷台数の減少に伴い、前年同期比 1万9千4百台の減少となる66万3千6百台となりました。

尚、2018年暦年の小売り販売については、当社の重点市場であります米国では、新型車の「アセント」や「クロストレック」が寄与し、10年連続の暦年過去最高となりました。また、世界合計では7年連続の過去最高を記録いたしました。

第3四半期累計実績 連結業績

(億円)

	2018年3月期 3Q累計実績 (a)	2019年3月期 3Q累計実績 (b)	増減 (b)-(a)
売上高	(25,646) 24,377	23,774	-603
国内	(4,845) 4,842	4,358	-484
海外	(20,801) 19,536	19,417	-119
営業利益	3,063	1,537	-1,526
経常利益	3,031	1,570	-1,461
税前利益	2,176	1,580	-596
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,528	1,182	-346
単独為替レート	¥112/US\$	¥111/US\$	-¥1/US\$

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出
* カッコ内数値：販売奨励金控除前

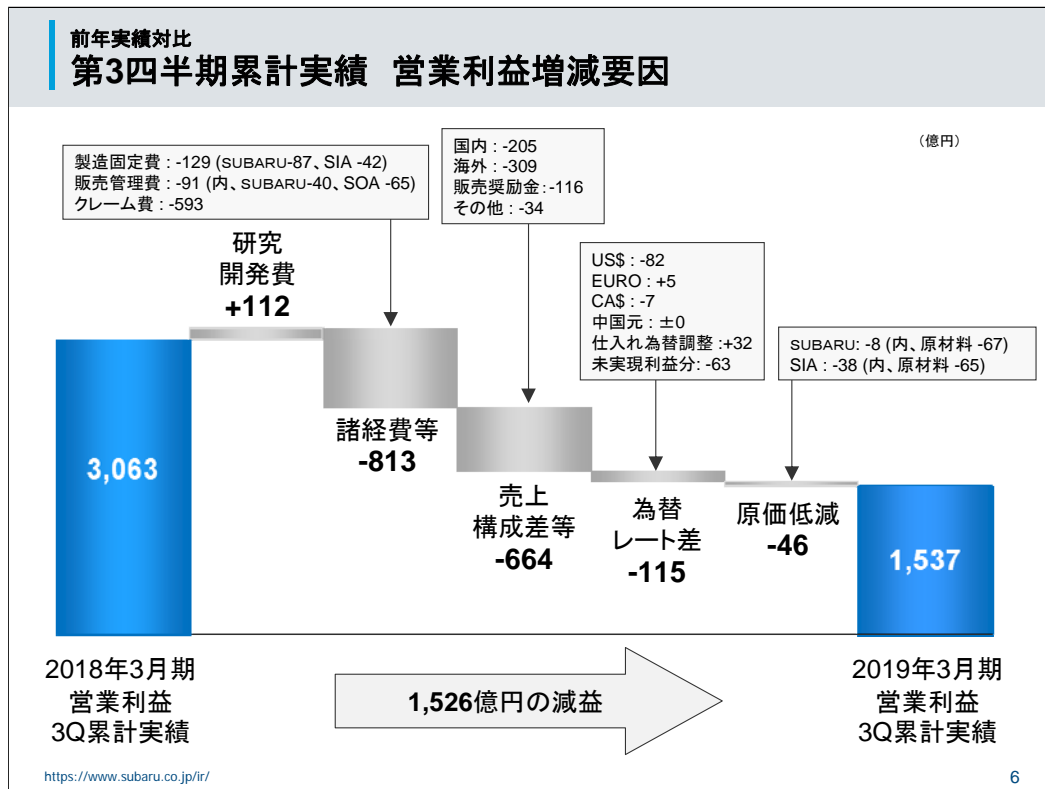
5

次に、連結業績です。

連結売上高は、売上構成差の悪化 -255億円、カンパニー等-245億円
為替レート差-103億円により、前年同期比603億円の減収となる2兆3,774億円となりました。

なお、売上高の前年度比較につきましては、
新しい会計方針に従って前年度実績を再計算しております。

営業利益につきましては、
大規模なリコールなどによる品質関連費用の増加および自動車売上台数の減少などにより
前年同期比 1,526億円の減益となる 1,537億円、
経常利益は、1,461億円の減益となる1,570億円となりました。
また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比346億円減益となる1,182億円となりました。



続きまして、営業利益増減要因についてです。

前年同期実績に対し1,526億円の減益となりますが、その要因についてご説明いたします。

初めに、増益要因です。研究開発費で +112億円です。

続いて、減益要因です。

<1>諸経費等 -813億円で、詳細は次の3つです。

①製造固定費の増加により-129億円です。そのうち、SUBARUは-87億円。内訳は、外製型費の増により-61億円、固定加工費の増により-26億円です。SIAは-42億円で、内訳は、外製型費の増により-27億円、固定加工費の増により-15億円です。

②販売管理費の増加で、-91億円です。内訳は、SUBARU -40億円、国内ディーラー ±0億円、SOA -65億円、カナダ子会社 -1億円、その他 +15億円です。

③クレーム費の増加で-593億円です。

昨年度は完成検査関連のリコール費等が発生いたしましたが、今年度はパルプスプリングなどの大規模なリコール費用等が含まれています。

<2> 売上構成差等で -664億円です。詳細は次の4つとなります。

①新車国内 -205億円 ②新車海外 -309億円
③販売奨励金 -116億円。内、SOAは -72億円です。台当たりインセンティブは\$2,150で、前年同期の\$1,900から\$250増加となりました。
④在庫調整等その他で -34億円。

<3>為替レート差で -115億円です。

ドルは約1円の円高で-82億円。ユーロは約3円の円安で+5億円。カナダドルは約1円の円高で-7億円。SUBARUと海外子会社の仕入れ為替調整で+32億円、未実現利益分で-63億円です。

<4>原価低減で-46億円です。そのうち、SUBARUで-8億円、SIAで-38億円となりました。

内訳は、SUBARUで原価低減+59億円、原材料・市況等-67億円。SIAは、原価低減+27億円、原材料・市況等-65億円です。

以上で、第3四半期累計の営業利益は、前期実績3,063億円から1,526億円の減益となる1,537億円となりました。

連結貸借対照表

(億円)			
	2018年3月末	2018年12月末	増減
総資産	28,665	28,701	+36
流動資産	17,704	17,379	-326
固定資産	10,960	11,322	+361
負債合計	13,055	12,900	-154
有利子負債	862	520	-342
純資産合計	15,610	15,800	+190
利益剰余金	12,835	12,913	+78
自己資本	15,528	15,732	+203
自己資本比率	54.2%	54.8%	-
D/Eレシオ	0.06	0.03	-

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

* 税効果会計基準の一部改正にともない、2019年3月期より算出方法を変更。比較年度についても同条件で算出。 7

続きまして、バランスシートです。

総資産は、2兆8,701億円と前期末に比べ36億円の増加となりました。

主な要因は、商品及び製品の増加498億円、固定資産の増加361億円、仕掛品の増加227億円、原材料及び貯蔵品の増加185億円、短期貸付金の増加95億円、有価証券の減少1,363億円などです。

負債は、1兆2,900億円と前期末に比べ154億円の減少となりました。

主な要因は、エアバッグ関連損失引当金の減少431億円、未払法人税等の減少421億円、短期借入金の減少174億円、未払費用の増加829億円などです。

純資産は、1兆5,800億円と前期末に比べ190億円の増加となりました。

主な要因は、為替換算調整勘定の増加147億円、利益剰余金の増加78億円などです。

自己資本比率は54.8%となりました。

第3四半期累計実績 連結キャッシュフロー

(億円)

	2018年3月期 3Q実績	2019年3月期 3Q実績	増減
営業活動CF	2,546	1,123	-1,423
投資活動CF	-1,320	-1,129	+191
フリーCF	1,226	-6	-1,232
財務活動CF	-1,650	-1,454	+196
換算差額	34	168	+135
現金及び現金同等物の増減	-390	-1,292	-901
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	-5	-	+5
連結子会社の決算期変更による 現金及び現金同等物の増減額	37	-	-37
現金及び現金同等物 合計	6,928	6,364	-563

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

8

次は、連結キャッシュフローです。

営業活動による資金の増加は1,123億円となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,580億円、未払費用の増加788億円、減価償却費784億円、法人税等の支払955億円、たな卸資産の増加860億円などです。

投資活動による資金の減少は1,129億円となりました。

主な要因は、固定資産の取得による支出(売却による収入との純額)1,074億円などです。

その結果、フリーキャッシュフローは-6億円となりました。

財務活動による資金の減少は1,454億円となりました。

主な要因は、配当金の支払1,101億円、短期借入金の減少171億円、長期借入金の返済による支出(借入れによる収入との純額)168億円などです。

また、現金及び現金同等物は、6,364億円となりました。

第3四半期累計実績 海外子会社業績

(Million US\$)

SOA	2018年3月期 3Q累計実績	2019年3月期 3Q累計実績	増減
売上高	13,901	14,240	+339
営業利益	336	256	-80
当期純利益	218	216	-2
小売販売台数(千台)	501.2	526.1	+24.9

SIA	2018年3月期 3Q累計実績	2019年3月期 3Q累計実績	増減
売上高	5,706	6,404	+698
営業利益	116	100	-16
当期純利益	65	81	+16
生産台数(千台)	260.4	271.2	+10.8

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

9

米国子会社の業績についてです。

SOAの小売販売は、クロストレックが引き続き好調に推移したこと、販売を開始した新型車「アセント」の台数寄与などにより、前年同期に対し2万4千9百台増の52万6千1百台となりました。

売上高は、前年同期比 \$339Mの増収となる \$14,240M、営業利益は、前年同期比\$80Mの減益となる\$256Mとなりました。

営業利益の増減要因は、数量・構成差+\$43M、販管費の増で-\$123M により、前年同期比\$80Mの減益となる\$256Mとなりました。

SIAの売上高は、前年同期に対し+\$698Mの\$6,404Mとなりました。

営業損益は、数量価格構成差+\$56M、原価低減活動-\$34M、固定費-\$38Mにより、前年同期比-\$16Mとなる\$100Mとなりました。

| 2019年3月期 見通し

通期計画 生産台数・連結完成車販売台数

(千台)

	2018年3月期 実績 (a)	2019年3月期 前回計画 (2018/11/5 発表値) (b)	2019年3月期 今回計画 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
米国生産	348.6	379.7	377.2	+28.6	-2.6
国内生産	701.2	656.1	615.8	-85.3	-40.3
合計	1,049.7	1,035.8	993.0	-56.8	-42.9

※ 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

(千台)

	2018年3月期 実績 (a)	2019年3月期 前回計画 (2018/11/5 発表値) (b)	2019年3月期 今回計画 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
連結完成車 販売台数 合計	1,066.9	1,041.1	996.4	-70.5	-44.7

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

11

続きまして、2019年3月期 通期の生産および連結完成車販売台数の計画です。

生産台数については、2019年1月に発生した電動パワーステアリング装置の不良部品発生に起因する当社群馬製作所の操業停止に伴う影響を含め、前年に対し5万6千8百台の減、前回計画に対し4万2千9百台の減となる99万3千台に修正いたします。

これに伴い、連結販売台数につきましても、前年に対し7万5百台の減、前回計画に対し4万4千7百台の減となる、99万6千4百台に修正いたします。

市場別の台数につきましては、今回の修正計画をベースに、影響を精査中のため、今回は合計値のみの発表とさせていただきます。

通期計画 連結業績

(億円)						
	2018年3月期 実績 (a)		2019年3月期 前回計画 (2018/11/5 発表値) (b)	2019年3月期 今回計画 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
売上高	(34,052)	32,327	32,100	31,200	-1,127	-900
国内	(6,686)	6,680	6,173	5,698	-982	-475
海外	(27,367)	25,647	25,927	25,502	-145	-425
営業利益		3,794	2,200	1,850	-1,944	-350
経常利益		3,799	2,290	1,930	-1,869	-360
税前利益		2,973	2,290	1,920	-1,053	-370
親会社株主に帰属する 当期純利益		2,204	1,670	1,400	-804	-270
単独為替レート		¥111/US\$	¥110/US\$	¥110/US\$	-¥1/US\$	+¥1/US\$

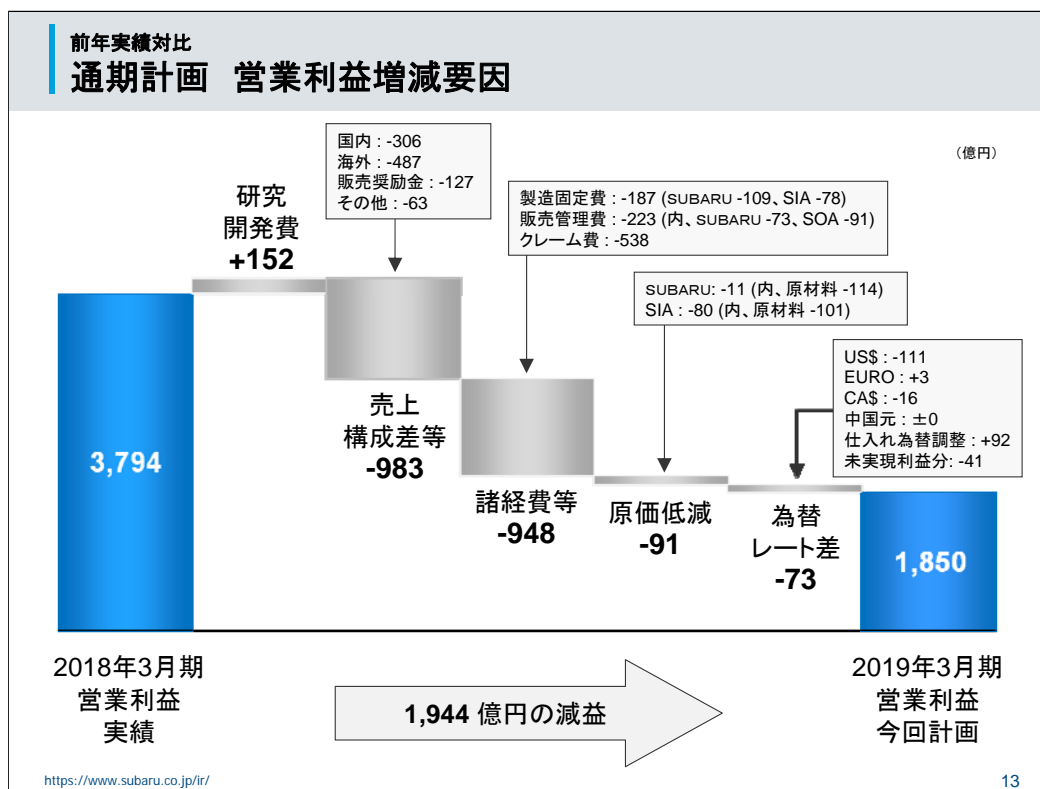
* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出
* カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

12

次に、連結業績計画です。

販売台数の減少や、品質関連費用等の増加などを織り込むことから、連結売上高は、前年比1,127億円の減収となる3兆1,200億円、営業利益は、前年比 1,944億円の減益となる1,850億円、経常利益は1,930億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,400億円に修正いたします。



続きまして、営業利益増減要因についてです。前年実績に対し1,944億円の減益となる要因について、ご説明いたします。まず、増益要因です。研究開発費の減少で+152億円です。

次に、減益要因です。

<1>売上構成差等で-983億円です。要因は次の4つです。

- ①新車国内は-306億円。②新車海外は-487億円
- ③販売奨励金 -127億円。内、SOAで-106億円です。
台あたりインセンティブは、\$2,150と、前年同期の\$2,000から、\$150増える計画です。
- ④在庫調整等その他で-63億円です。

<2>諸経費等の増加で-948億円です。要因は次の3つです。

- ①製造固定費の増加により-187億円です。そのうち、
SUBARUは、外製型費の増により-84億円、固定加工費の増により-25億円で、-109億円。
SIAでは、外製型費の増により-34億円、固定加工費の増により-44億円で、-78億円を見込みます。
- ②販売管理費の増加で-223億円です。
SUBARU -73億円、国内ディーラー -2億円、SOA -91億円、カナダ子会社 -17億円、
その他 -40億円です。
- ③クレーム費の増加で-538億円です。

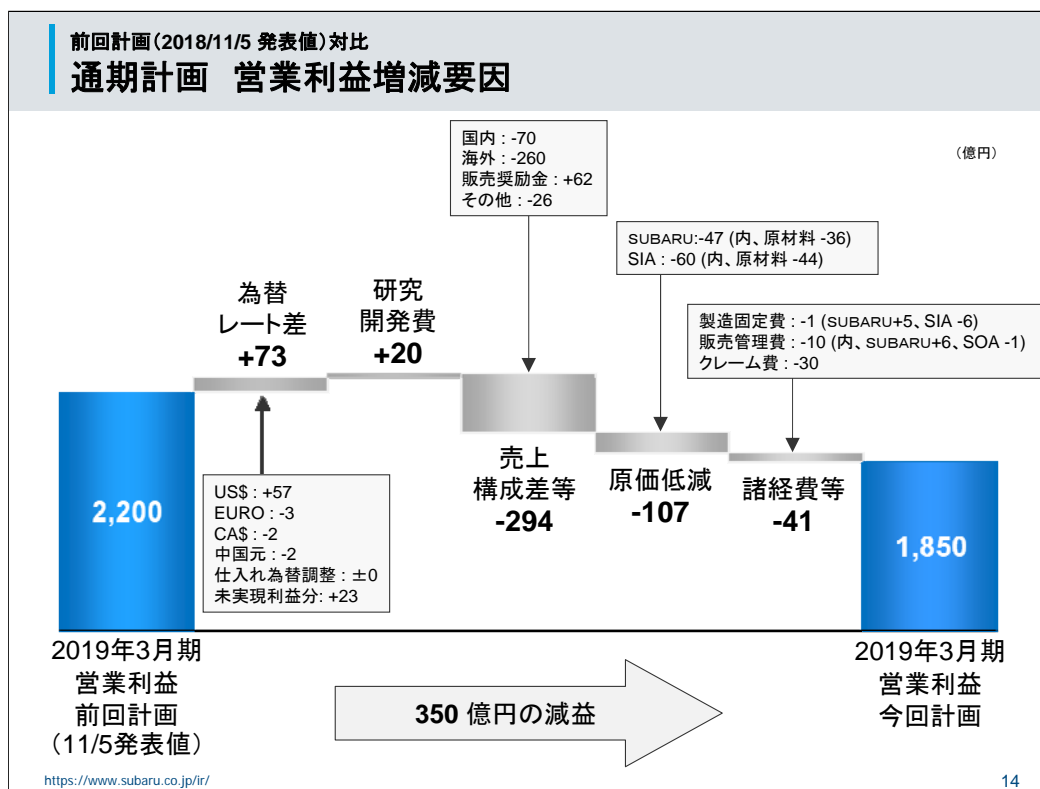
<3>原価低減で-91億円です。そのうち、SUBARUで-11億円、SIAで-80億円です。

SUBARUでは、原価低減+103億円、原材料・市況等-114億円です。SIAでは、原価低減+21億円、原材料等-101億円です。

<4>最後に、為替レート差で-73億円です。

米ドルは約1円の円高を見込み、-111億円。
ユーロは若干の変動により+3億円、カナダドルは約2円の円高で-16億円。
その他、SUBARUと海外子会社の仕入れ為替調整で+92億円、在庫未実現利益分として-41億円を計画しています。

以上で、2019年3月期の通期営業利益は、前年実績3,794億円から1,944億円の減益となる1,850億円を計画しています。



続きまして、前回発表値に対し、350億円の減益となる要因についてご説明いたします。

まず、増益要因として2点です。

<1>為替レート差で+73億円です。

米ドルは約1円の円安を見込み、+57億円。

ユーロは約1円の円高で-3億円、カナダドルは約1円の円高で-2億円、

中国元は若干の変動で-2億円です。

その他、SUBARUと海外子会社の仕入れ為替調整で±0億円、在庫未実現利益分として+23億円を計画しています。

<2>研究開発費で+20億円です

次に、減益要因です。

<1>売上構成差等で-294億円です。要因は次の4つです。

①新車国内は-70億円。②新車海外は-260億円。

③販売奨励金 +62億円。内、SOAで+44億円です。

台あたりインセンティブは、前回計画の\$2,250に対し\$100減の、\$2,150を計画しております。

④在庫調整等その他で-26億円です。

<2>原価低減で-107億円です。そのうち、SUBARUで-47億円、SIAで-60億円です。

内訳は、SUBARUで、原価低減-11億円、原材料・市況等-36億円です。SIAでは、原価低減-16億円、原材料等-44億円です。

<3>諸経費等の増加で-41億円です。要因は次の3つです。

①製造固定費の増加により-1億円です。そのうち、

SUBARUは、外製型費の減により+9億円、固定加工費の増により-4億円で、+5億円。

SIAは、固定加工費の増により-6億円です。

②販売管理費の増加で-10億円です。

SUBARU +6億円、国内ディーラー +9億円、SOA -1億円、カナダ子会社 -7億円、その他 -17億円です。

③クレーム費の増加で-30億円です。

以上で、2019年3月期の通期営業利益は、前回計画値2,200億円から350億円の減益となる1,850億円を計画しています。

設備投資・減価償却費・研究開発費・有利子負債

(億円)

	2018年3月期 3Q累計実績	2019年3月期 3Q累計実績	2018年3月期 通期実績 (a)	2019年3月期 通期前回計画 (2018/11/5 発表値) (b)	2019年3月期 通期今回計画 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
設備投資	780	852	1,414	1,300	1,300	-114	±0
減価償却費	653	674	898	930	930	+32	±0
研究開発費	889	780	1,211	1,080	1,060	-151	-20
有利子負債	919	520	862	500	1,000	+138	+500

* 2019年3月期より会計方針変更にもない、当社および国内連結子会社の一部の有形固定資産の償却方法を定率法から定額法へ変更。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

15

次に、設備投資、減価償却費、研究開発費、有利子負債についてです。

第3四半期の実績は、設備投資852億円、減価償却費674億円、研究開発費780億円となりました。

通期計画については、

設備投資および減価償却費は、前回の発表値から変更はありませんが、

研究開発費については、前回発表値に対し-20億円となる1,060億円、

有利子負債は、+500億円となる1,000億円を計画へ修正いたします。

株主還元政策

【一株当たり配当金】

	2018年3月期 実績	2019年3月期	
		実績	今回予想
第2四半期末	72	72	-
期末	72	-	72
年間合計	144	-	144

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

16

最後に、株主還元についてです。

販売台数の減少や品質関連費用等の増加などにより、
前回計画に対し利益水準は悪化するものの、
配当予想については前回から変更いたしません。

次ページ以降は、セグメント情報等の参考情報となります。

以上で2019年3月期 第3四半期決算の説明を終わります。
ありがとうございました。

ご参考

- ・連結営業外収支 / 特別損益
- ・セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・海外売上高
- ・単独販売台数
- ・第3四半期(3か月) 連結業績
- ・第4四半期(3か月) 連結業績計画
- ・生産台数 / 小売台数 推移

第3四半期累計実績 連結営業外収支/特別損益

(億円)

	2018年3月期 3Q累計実績	2019年3月期 3Q累計実績	増減
金融収支	42	91	+48
為替影響	-26	-58	-32
海外子会社税務関連損失	-37	-	+37
その他	-11	1	+12
営業外収支	-32	34	+66
固定資産売却益	3	12	+8
投資有価証券売却益	7	36	+29
固定資産除売却損	-42	-41	+2
エアバッグ関連損失	-813	-	+813
その他	-11	+3	+13
特別損益合計	-855	+10	+864

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

18

第3四半期累計実績 事業セグメント別業績

(億円)

	売上高			営業利益			
	2018年 3月期 3Q累計実績	2019年 3月期 3Q累計実績	増減	2018年 3月期 3Q累計実績	2019年 3月期 3Q累計実績	増減	
自動車	(24,339)	23,070	22,719	-351	2,903	1,454	-1,449
航空宇宙	(1,067)	1,067	943	-123	116	49	-67
その他	(240)	240	111	-129	40	29	-11
消去・全社					5	5	+0
合計	(25,646)	24,377	23,774	-603	3,063	1,537	-1,526

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出
* カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

19

第3四半期累計実績 所在地別セグメント業績

(億円)

	売上高				営業利益		
	2018年 3月期 3Q累計実績	2019年 3月期 3Q累計実績	増減	2018年 3月期 3Q累計実績	2019年 3月期 3Q累計実績	増減	
日本	(7,422)	7,417	-653	2,419	1,031	-1,388	
北米	(16,720)	15,506	+304	582	504	-78	
その他	(1,504)	1,454	-254	36	8	-29	
消去・全社				26	-6	-32	
合計	(25,646)	24,377	-603	3,063	1,537	-1,526	

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出

* カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

20

第3四半期累計実績 連結海外売上高

(億円)

	2018年3月期 3Q累計実績		2019年3月期 3Q累計実績	増減
北米	(17,610)	16,395	16,512	+117
欧州	(851)	844	808	-36
アジア	(1,074)	1,031	877	-153
その他	(1,267)	1,265	1,219	-46
合計	(20,801)	19,536	19,417	-119

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出
 * カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

21

第3四半期累計実績 単独販売台数

(千台)

	2018年3月期 3Q累計実績	2019年3月期 3Q累計実績	増減
国内生産	532.2	491.1	-41.2
国内売上	125.9	104.2	-21.6
登録車	103.4	84.9	-18.5
軽自動車	22.5	19.4	-3.1
輸出台数	419.6	396.2	-23.5
海外生産用部品	266.0	298.6	+32.7
単独売上合計	811.4	799.0	-12.4

※ 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

22

第3四半期 (3ヵ月)実績 連結完成車販売台数

(千台)

	2018年3月期 3Q実績	2019年3月期 3Q実績	増減
登録車	30.4	27.5	-2.9
軽自動車	6.1	6.0	-0.1
国内合計	36.5	33.5	-3.0
米国	175.8	193.7	+17.8
カナダ	13.7	15.4	+1.7
ロシア	2.0	1.4	-0.6
欧州	10.7	5.3	-5.5
豪州	14.3	12.2	-2.1
中国	7.7	7.5	-0.2
その他	9.8	11.0	+1.3
海外合計	234.1	246.5	+12.4
合計	270.6	280.0	+9.4

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

23

第3四半期 (3ヵ月)実績 連結業績

(億円)

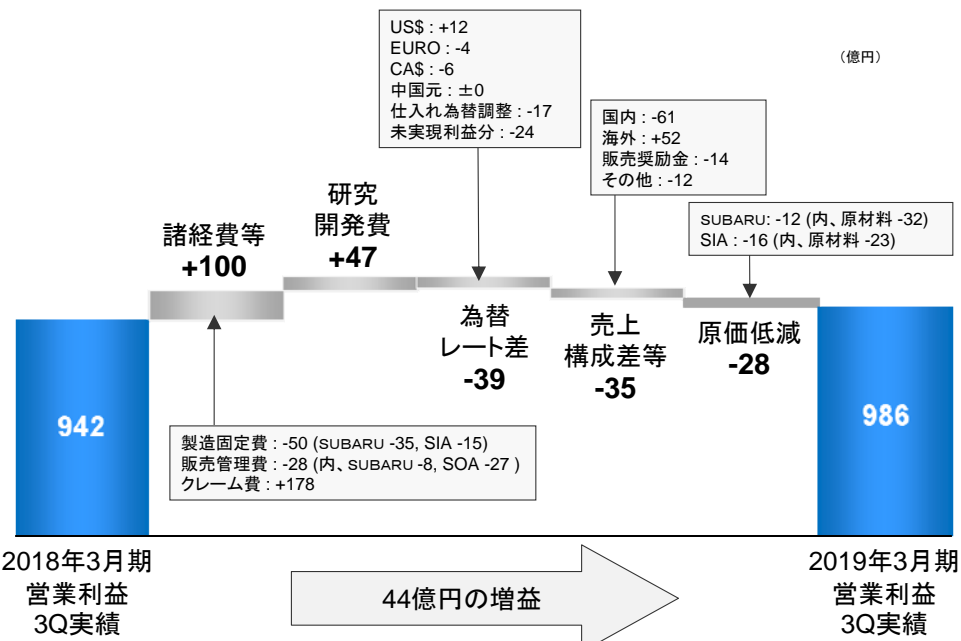
	2018年3月期 3Q実績	2019年3月期 3Q実績	増減
売上高	(8,783) 8,297	8,906	+609
国内	(1,559) 1,559	1,483	-76
海外	(7,224) 6,738	7,423	+684
営業利益	942	986	+44
経常利益	904	970	+66
税前利益	892	950	+59
親会社株主に帰属する 当期純利益	678	739	+61
単独為替レート	¥112/US\$	¥113/US\$	+¥0/US\$

*2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出
*カッコ内数値:販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

24

前年実績対比
第3四半期 (3ヵ月)実績 営業利益増減要因



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

25

第4四半期(3ヵ月)計画 連結業績

(億円)

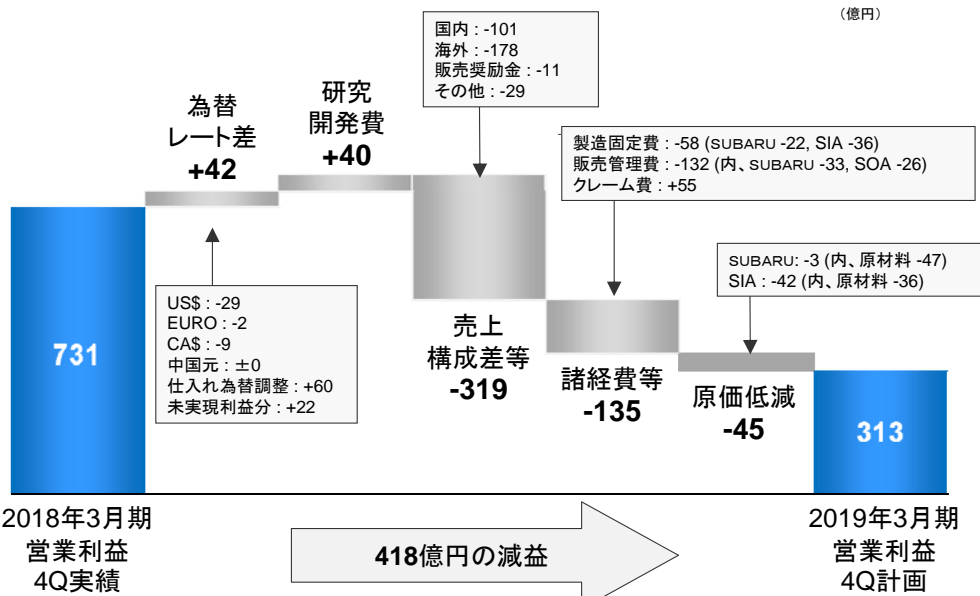
	2018年3月期 4Q実績	2019年3月期 4Q計画	増減
売上高	(8,406) 7,949	7,426	-524
国内	(1,840) 1,838	1,340	-498
海外	(6,565) 6,111	6,086	-26
営業利益	731	313	-418
経常利益	768	360	-409
税前利益	797	340	-457
親会社株主に帰属する 当期純利益	675	218	-457
単独為替レート	¥110/US\$	¥109/US\$	-¥1/US\$

*2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出
*カッコ内数値:販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

26

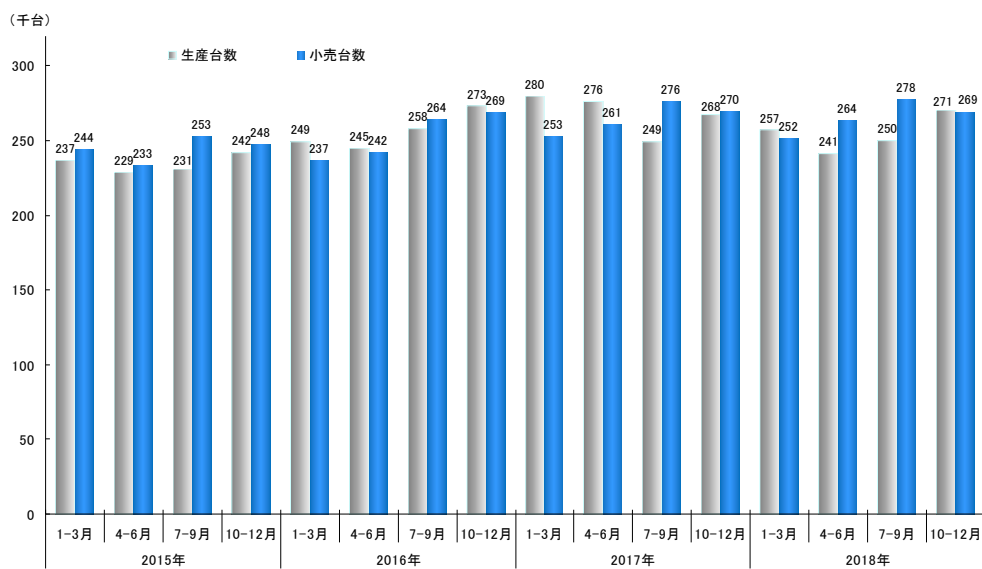
前年実績対比
第4四半期(3ヵ月)計画 営業利益増減要因



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

27

生産台数 / 小売台数 推移



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

※ 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

28



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみで全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>